

# 令和7年度ヨーロッパザラボヤ等付着情報（第7報）

令和8年2月4日

発 行: 岩手県水産技術センター

協力機関: 沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター

三陸やまだ漁業協同組合

- ・ヨーロッパザラボヤの付着数は、前回調査（12月）と同程度で、低位に推移しています。
- ・ユウレイボヤの付着数は前回調査（12月）より減少しました。

## ＜調査方法＞

- 1 調査日: 令和8年1月27日 (前回調査: 12月22日)  
付着器投入期間: 12月22日～1月27日 (前回調査: 11月26日～12月22日)  
プランクトンネット曳網日: 1月27日 (前回調査: 12月22日)
- 2 調査場所  
山田湾 大島南端から西微南方向480m付近にある一区第136号に設置した標識灯付近
- 3 調査方法
  - ザラボヤ等付着状況調査  
ホタテガイ貝殻を使用した付着器を水深5m、10m、15mに3枚ずつ取り付けたロープを垂下し、1ヶ月ごとのヨーロッパザラボヤ（1mm以上）、ユウレイボヤ（1mm以上）の付着数を計数。付着器9枚（3水深×3枚）に付着した数を平均したものを平均付着数とした。
  - フジツボ類発生状況等調査
    - ・ザラボヤ等付着状況調査時にフジツボ類の付着数を計数。
    - ・北原式プランクトンネットを鉛直に20m曳網し、採集物の中からフジツボ類の幼生を計数。

## ＜調査結果＞

- ザラボヤ等付着状況調査  
1月27日の水深5m、10m、15m層の水温は、5m及び10mが8.0°C、15mが7.9°C（別紙図1）、透明度は15m（前回13m）でした。  
ヨーロッパザラボヤの付着器への平均付着数は2.4個体/枚で、前回調査並（前回2.8個体/枚）でした（別紙 表1及び図2）。  
ユウレイボヤの付着器への平均付着数は3.7個体/枚で、前回調査（29.8個体/枚）より大幅に減少しました（別紙 図2）。
- フジツボ類発生状況等調査  
フジツボ類の付着器への付着は、前回と同様にありませんでした（別紙 図3）。  
フジツボ類幼生は2.5個体/m<sup>3</sup>（前回0.0個体/m<sup>3</sup>）でした（別紙 図3）。

お問合せ先  
担当 増養殖部 田中  
電話 0193-26-7917

## 別紙

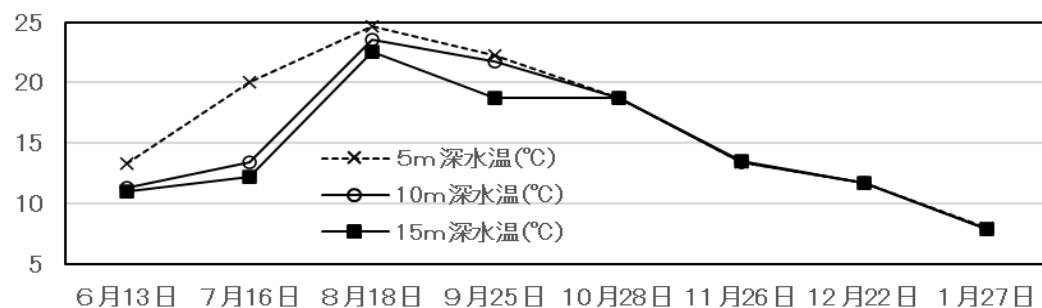


図1 5、10、15mの水温

表1 ヨーロッパザラボヤの平均付着数

	令和7年						令和8年
	7月16日	8月18日	9月25日	10月28日	11月26日	12月22日	1月27日
5m	11.3 個体/枚	0.3 個体/枚	2.0 個体/枚	10.7 個体/枚	29.0 個体/枚	2.7 個体/枚	0.7 個体/枚
10m	4.7 個体/枚	0.0 個体/枚	1.0 個体/枚	9.3 個体/枚	12.3 個体/枚	2.3 個体/枚	3.0 個体/枚
15m	38.3 個体/枚	8.3 個体/枚	0.0 個体/枚	0.3 個体/枚	1.0 個体/枚	3.3 個体/枚	3.7 個体/枚
平均	18.1 個体/枚	2.9 個体/枚	1.0 個体/枚	6.8 個体/枚	14.1 個体/枚	2.8 個体/枚	2.4 個体/枚

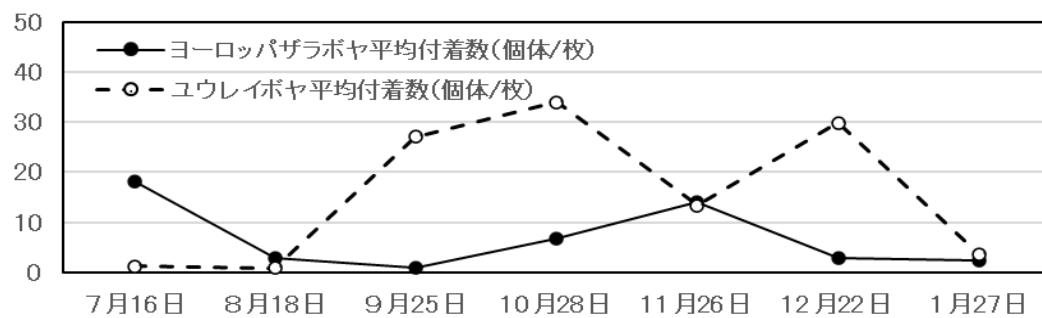


図2 ヨーロッパザラボヤ及びユウレイボヤの平均付着数

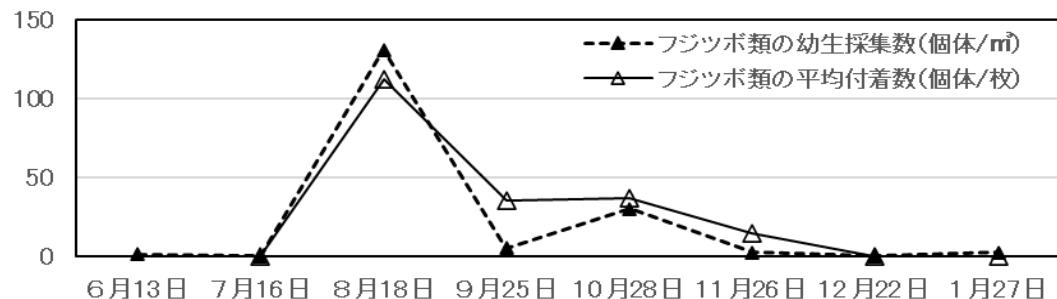


図3 フジツボ類の 幼生採集数 及び 平均付着数